

くまもとの 公園

みらいデザインKUMAMOTO ⑤



熊本市現代美術館

アーツカイギャラリー

熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階

2021 2.3 水 — 3.7 日

10:00 ~ 20:00 (3月2日は10:00-17:00) 入場無料
火曜休館(2月23日、3月2日は開館)、2月24日(水)

くまもとの 公園

崇城大学芸術学部デザイン学科の「地域プロジェクト授業」は、地域のコンテンツに密接に関わるデザイン提案を目標としながら実践的なデザインプロセスを習得する専門科目です。2020年度は、市民にとって身近な存在である「公園」をテーマとして、学生ならではの視点からグループワークに取り組んできました。公園は、本来「自由な空間」です。誰もが楽しく気持ちよく利用できる公園とするために、学生の自由な発想で公園の新しいあり方・使い方を提案します。この度、その成果を発信する地域プロジェクト展覧会「みらいデザイン kumamoto 5 : くまもとの公園」を開催いたします。熊本の未来につながるデザイン提案をぜひご覧下さい。

公園を楽しく気持ちよく利活用する16のデザイン提案



パラソルスペース

公園を訪れる目的に合わせて利用しやすい、ハンギングパラソルを活用した新しいスペースの提案です。



公園を楽しく利用するための看板

安全で楽しい公園の利用方法をわかりやすく伝えるために、間違い探しとピクトグラムを用いた看板の提案。



おかえり公園プロジェクト

遊具や時計の色塗りイベントの提案。時計はベイント用にデザインしたものを新たに設置します。



これからの防災公園

ソーシャルディスタンス時代において、市民の皆様楽しく、気持ちよく利用してもらえる防災公園。



遊んで発電する公園

公園の利用増加を目的とし、遊ぶことで発電を学んだり、災害時にも活用できる発電機能を持った遊具の提案。



安心安全で使いやすい公園

公園のマナー向上に繋げるため、イラストレーションと蓄光塗料を使い昼夜問わず見やすい掲示板の提案します。



朝のよみみち

朝ごはんの販売を公園で行い、食事というコンテンツを通して公園のマナーについて知らせます。



Photo & cafeteria

疲れが溜まった大人のための、写真とお茶会が共存する癒しのイベント提案です。



すいさい苑

社会人でも楽しめる、チェアやライトを使った新しい環境の提案。夜になると公園の名前が変化するのが特徴。



#私と公園の物語

とある公園で繰り広げられる公園と誰かの物語。そこから繋がる地域と人々をもとに、地域貢献する公園の提案。



申請へのハードルを下げるデザイン

「申請へのハードルを下げる」を目標に、申請書の書き方リーフレット（公園課だより）の制作を行いました。



公園で行う異文化交流イベント

異文化の遊びや食を、実際に体験するイベントを提案します。公園の利用方法の可能性を広げることが目的です。



公園検索に特化したアプリ

公園検索アプリを提案します。公園に求める条件は一人一人違うため、その方に合った公園の検索をお手伝いします。



タップで広がる「ワンタッチパーク」

公園の申請を、誰でも簡単に行うことができるデジタルサイネージを提案します。画面をタップすることで、簡単に申請ができます。



人の関わりを育む公園

地域の人・また訪れた人たちなど関係を育み、居心地の良い場となる新たな柿原公園の提案です。



サンセットパーク

高台にある、夕日が綺麗に見えるという特徴を生かした懐かしさに浸れる新たな池田公園の形の提案です。

主催：崇城大学芸術学部デザイン学科

共催：熊本市現代美術館（公益財団法人 熊本市美術文化振興財団）

協力：熊本市公園課